

龍源寺報

令和8年（2026年）正月号

臨濟宗・妙心寺派
住職 松原信樹
佛母寺住職 松原覚樹
正福寺住職 松原行樹
TEL 03-3451-1853
FAX 03-3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23（郵便番号 108-0073）

Email: info@ryugenji.com URL: <http://www.ryugenji.com>

（メールアドレスが復旧しました。）

新年におもう

龍源寺住職 松原信樹

私が、約二十年前、ネパールのポカラに行ったとき、神が宿っているため、登ってはいけない山があった。恐らく、人々がその山を神として崇拝していたのだろう。日本でも、以前は、人間の力を越えた、畏怖すべき神秘的自然への、時に恐ろしいが、時に恵みを与えてくれる、生命力への讃美と感謝の念が宿っていた。現代、日本で暮らしていると、自然は、もはや、なんら神秘をも宿さぬものとなり、畏怖や讃美の感謝の念などなしに、全く機械的に、その仕組みを取り押さえて、これを究明すべき対象物と化す傾向が強くなってきているように思う。その結果、自然は、その機械的な予測の知に基づいて、そこから人為的な利便と効率を引き出すべく、思いのままに、その力を搾取し始めている。現代人は、いまや、自分の知力を盲信し、自分を存在の主と思い違えてはいないだろうか。祖父である松原泰道師が、「人間を万物の霊長と考えてはならない」と言っていたことが、頭をよぎる。

今日、AIの発展が凄まじい。AIは、情報を集め、思考を模倣し、言葉を生み、推論を積み重

ねるが、寄せ集めの知識にすぎない。そのような知は常に移ろい、モデルは壊れ、また新たに生まれるかわる。AIもまた、仏教が説く「無常」の海を漂う一葉の舟なのだろう。

では、人間とAIはどう向き合うべきか。AIを使うときも、AIに問うときも、私たちは結局、自分自身の「心」に問っている。AIがどれほど発達しても、何ものにもとらわれぬ自由な心を持つのは、やはり人間側である。私は、生活の中で、他者との共同性を実現する気遣いなしには、本当の意味での生活を実現できないと思っている。それらは、人間同士の心の交流によるものである。学問、芸術、発見、その個性豊かな活動や諸作品のすべては、AIといった技術的操作を越えたところで、自然の恵みと人間の全身全霊から成す努力のなかでのみ、結実するのではないだろうか。私は、学生時代、フランクフルト学派を研究されていた清水多吉先生の「学問とは、間違いを間違いいいきれることだ」という言葉を今でも大切にしている。

龍源寺では、月に一回、第一土曜日に、坐禅会を行っている。短い時間だが、私はこの時間を大切にしている。皆さまの一年のご多幸を心よりお祈り致します。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

ご寄付

金五万円 天野富美子殿

ありがとうございます

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。
龍源寺の周囲が再開発される中、
龍源寺を地域の文化資源の一つとして
捉え、先々代から三代続く境内整備に
力を注いで参ります。

ご支援いただける個人・団体・法人の
皆さまに改めてご協力を賜りたくお願
い申し上げます。未熟者ですが、今後
とも宜しくお願い申し上げます。

龍源寺住職 松原信樹

大般若会（新年の祈祷会）

一、一月十日（土曜日）午前十一時

一、法話

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。

龍源寺への交通の便（地下鉄）

● 南北線。白金高輪駅下車。徒歩五分。

2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり。

〈都バス〉

● 田87 渋谷駅—田町駅 魚籃坂ぎょらん下下車

● 都06 渋谷駅—新橋駅 古川橋下車

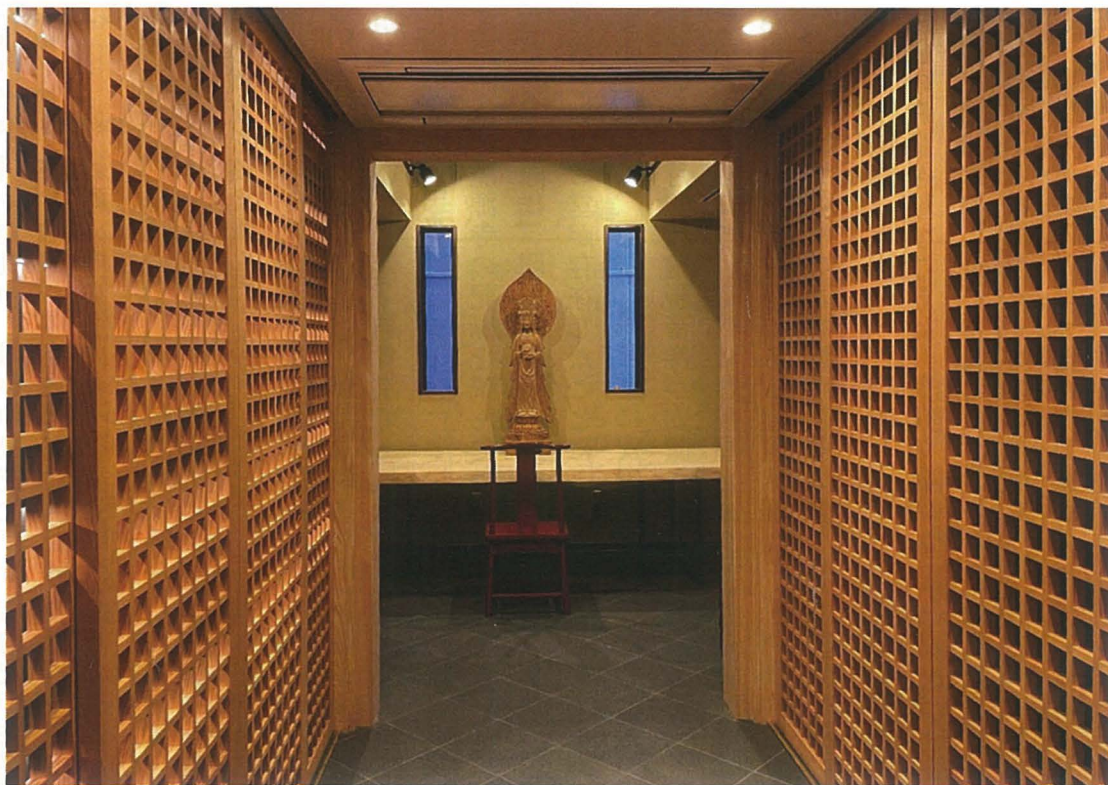
● 品97 品川駅—新宿駅西口 魚籃坂下・古川橋下車

● 反96 五反田駅—品川駅—六本木ヒルズ（循環）

魚籃坂下・古川橋下車

〈東急バス〉

● 東98 東京駅南口—等々力操車場 魚籃坂下下車



水月堂

一つの月が、あらゆる水に映ります。

水の深さや形はそれぞれ違って、月の光は、平等に届けます。

水月堂は、亡き人を想う場所であると同時に、

ご先祖からのいのちのつながりと、

みずからのいのちの尊さに気づく場所です。

亡き人の存在は、今を生きる私たちの心にも映り、

静かにこの瞬間を照らしています。

このお堂を訪れるすべての方が、

いのちの尊さに気づき

感謝とともにいまを生きることができますように。

龍源寺住職 松原信樹



Instagram を始めました。アカウントは ryugenji.zen です。



柳 緑

花 紅

明けまして、おめでとうございます。本年もよろしく
お願い申し上げます。納骨
堂に關しまして、令和七年
十一月十九日に、建築の最

後の検査を終えました。おかげさまで、
計画から約五年の歳月を経て完成致し
ました。関係者の皆さま、本当にあり
がとうございました。納骨堂である水
月堂の名前の由来は、「書上げ」という、
江戸時代の龍源寺の記録を読んできま
したら、実際に、龍源寺の境内に、水
月堂というお堂が存在したことにより
ます。恐らく、現在、観音堂に安置さ
れている水月如意輪観音像が安置され
ていたでしょう。総代の豊前屋さま
から寄贈された合祀墓である宝篋印塔
の正面には、水月如意輪観音を意味す
る梵字が刻まれています。また、歴代
住職のお墓を移すことは、長年の私の
思いでもありました。季節ごとに境内
に咲いている花を供え、お墓の掃除を
し、お参りをするという新たな日常が
できました。同時に、そこは、私たち

寺族が入る墓所でもあります。水月堂
のお受け入れに關しまして、私自身も
お墓の改葬を体験しましたので、皆さ
まのお力になれると思います。ご希望
の方は、お電話をお願い致します。今
後の龍源寺の計画としまして、借地の
整備を行い、『大蔵經』という經典を収
める経蔵の建立と、蔵書の整理を行っ
てまいります。禅宗は、文字や言葉に
頼らず、直接的な体験を通じて悟りを
得るという意味で、「不立文字」といわ
れますが、書籍の量は大変多いのが現
状です。祖師方は、それだけ、言葉に
こだわったのです。また、昨今のAI
の浸透により、坐禅を通じた現代人の
心の開発を積極的に行っていきたいと
思います。つまり、禅という中国唐代
の古典を現代の価値観にあわせ、今の
言葉で再生をしていきたいと思ひます。
また、夏には、北軽井沢・日月庵坐禅
堂での子供たちの坐禅会なども再び手
掛けていきたいと思っています。大変
大切なことだとも思っています。▼
母は膝が悪いながらも元気に毎日を過

ごしています。先日、境内で転倒して
しまいました。問題はなかったよう
です。大変なことですが、毎日の筋力
トレーニングが必要のようです。また、
家内が仕事で留守の時は、娘の瑞樹の
お弁当や洗濯をしてくれまます。年末
年始は、家内が仕事で留守の可能性もあ
りますが、全員で仕事を分担していき
たいと思ひます。家内の亜矢さんは、
お寺の仕事と会社の仕事を両立して
くれています。寺族の一人一人が何かし
ら仕事をしている状況です。娘の瑞樹は、
元気に学校へ通っています。早寝早起
きを実践し、生活のリズムを作ってい
ます。食べ物で好き嫌いが無いことは、
大変ありがたいことです。今、境内の
お掃除をお願いしている方は、娘の学
校で外のお掃除をしてくださっている
ことに縁を感じます。▼本堂へのエレベ
ーターが、地盤沈下のため、段差ができ
てしまいました。エレベーターの乗り降
りに、気をつけてください。令和八年の
新年会は、令和八年一月十日午前十一時
より行います。ご家族でお参りください。